

長崎労災病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究題名	リハビリテーションと入院時の排尿障害との関連
当院の研究責任者	大坪 亜紗斗（長崎労災病院 泌尿器科）
研究目的	リハビリテーションによる身体機能の改善で、入院中の排尿障害が改善するかを調査します。
調査データ 該当期間	2021年5月1日～2023年8月31日の間に当院で入院歴のある方で、導尿が一時的に必要となり、排尿ケアラウンドに紹介となった方を対象としております。
研究期間	研究機関長の許可日～2024年5月31日
研究方法	後方視的研究で、研究対象者の診療録より臨床情報を収集します。具体的には研究対象者の年齢、性別、パフォーマンスステータス、高血圧、糖尿病の有無、入院目的、リハビリテーション開始時と退院前のFIMスコア、転帰（導尿が不要となったか）などを収集します。本研究を通じて収集されたデータから、統計手法を用いてリハビリテーションの有用性や排尿障害の転帰に関わるリスク因子を探索します。
試料/情報の 他の研究機関への提供	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取扱	<p>本研究に関わる者は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また研究関係者は、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を正当な理由なく漏らしません。研究関係者がその職を退いた後も同様とします。</p> <p>本研究に係る情報を取り扱う際には研究対象者の個人情報とは関係のない番号（識別コード）を付けて管理します。また、研究対象者と識別コードが特定できるよう対応表を作成し、個人情報が容易に閲覧できないように配慮します。</p> <p>また、下記の場合についても個人情報について十分に配慮します。</p> <ul style="list-style-type: none">・研究機関長、あるいは倫理委員会の指示で研究に直接関与していない第三者が研究対象者のカルテを閲覧する場合・研究結果を公表する場合
研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：0956-49-2191 担当者：泌尿器科 大坪亜紗斗（おおつぼ あさと）